

# 財団と希望が丘文化公園の歴史

広大で豊かな自然  
起伏に富んだフィールド  
四季折々の景観



# 希望が丘文化公園のはじまり



名称選定委員会(昭和44年3月4日)



「希望が丘建設室」設置  
(昭和44年4月1日)



希望が丘建設事業起工式(昭和44年10月3日)

野外活動センターオープン  
(昭和45年7月1日)



野外活動センター開所式(昭和45年7月1日)

# 希望が丘文化公園のはじまり

希望の橋竣工（昭和45年12月23日）



かえでの森完成記念植樹  
（昭和46年4月15日）



希望が丘文化公園開園・青年の城開館  
（昭和47年4月5日）



## 昭和47年の出来事

第1次田中角栄内閣  
（日本列島改造、  
日中国交回復）  
浅間山荘事件、  
横井庄一氏帰還、  
パンダ来日、  
札幌&ミュンヘン  
オリンピック

太陽にほえろ、  
木枯らし紋次郎

どうにもとまらない、  
違いがわかる男

男の子の子、  
女のみち、せんせい、  
喝采、さそり座の女、  
瀬戸の花嫁、  
学生街の喫茶店、  
傘がない、旅の宿

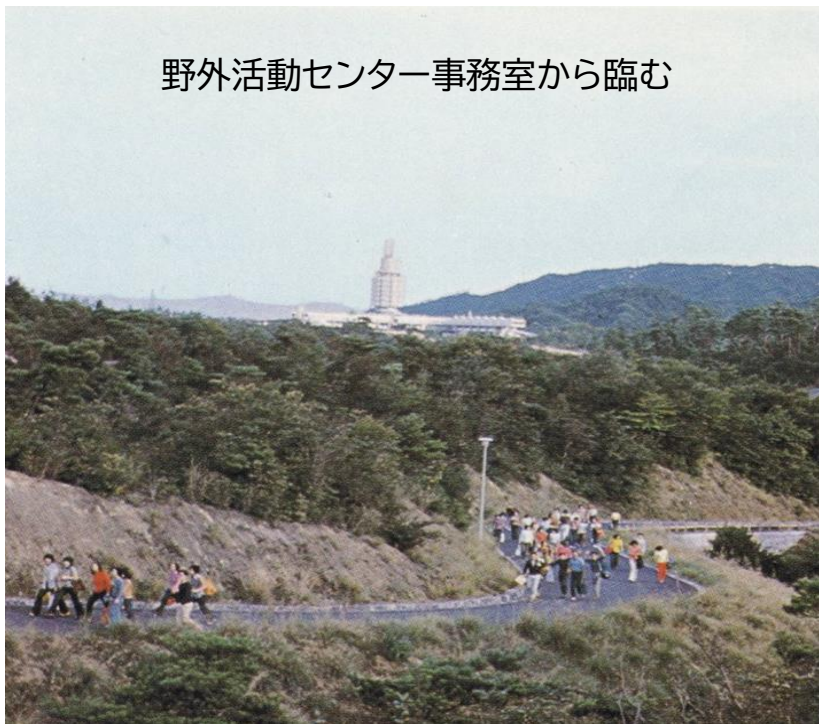
希望の橋を渡って野外活動センターへ



野外活動センター中央広場



野外活動センター事務室から臨む



多目的広場から桜の森を臨む



# 昭和47年度**青年の城**主催事業

※青年の城利用者数 60,062人  
令和6年度 34,458人

①職場職域中堅青年研修	2泊3日 3回(5・6・10月) 75名
②レクリエーションリーダー研修	2泊3日 2回(7・12月) 98名
③青年の城コンパニオン養成講座	2泊3日(6月)&1泊2日(11月) 22名
④宿泊研修担当者研修	日帰り2回5月&1泊2日2回4・5月 149名
⑤働く青年のつどい	1泊2日 4回(6・7・8・9月) 122名
⑥新成人のつどい	2泊3日 2回(1月) 54名
⑦現代文化講座	1泊2日 6回(大津絵4・5月 写真7・9月 郷土史10・12月) 74名
⑧青年社会大学講座中央会場	1泊2日 2回(9・11月) 203名
⑨新就職者研修	2泊3日 2回(5・6月) 35名
⑩就職予定者研修	高校 1泊2日 3回(2月) 48名 中学校 1泊2日 2回(2月) 47名



## 野外活動センター

昭和52年度

施設利用者数 63,119人

6年度 12,796人

### 最初の事業

希望が丘岨あげのつどい

たこづくり 646名

自作たこ 173名

一般 600名

計 1,419名



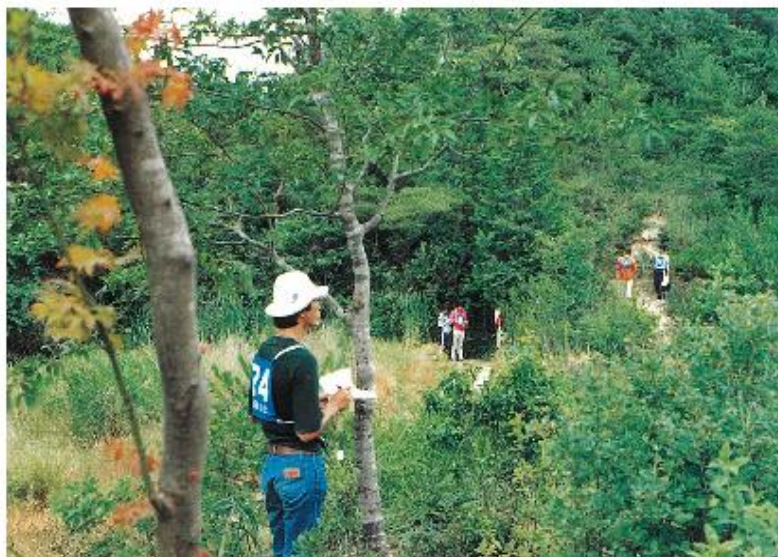
昭和53年度

施設利用者数 64,429人

①希望が丘岨あげのつどい  
たこづくり 444名 自作たこ 265名  
一般 1,100名 計 1,809名

②希望が丘親子キャンプのつどい  
1泊2日 28家族 91名

③カウンセラー講習会 1泊2日(6月)  
男子 34名 女子 27名  
計 61名



昭和47年7月1日

## プールオープン(7・8月)

### 利用者数抜粋

S47 22,958人

S48 44,936

**S51 71,868**

S52 71,032

S53 67,415

S56 57,292

S60 42,425

S61 33,499

S63 21,414

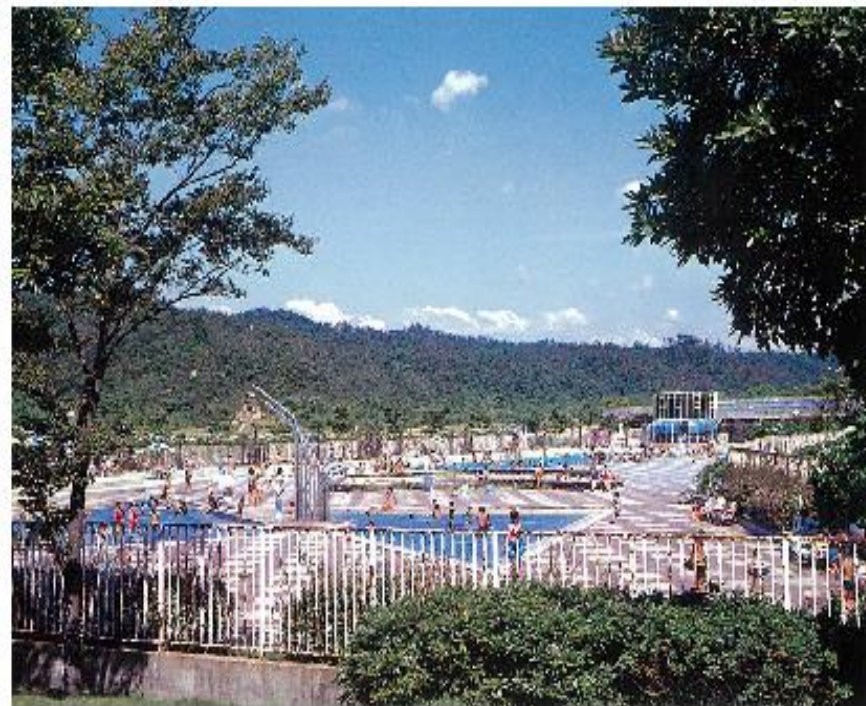
H 3 17,451

H 5 10,638

H 7 12,615 閉鎖

H 8 撤去

屋内テニスコート新設



## スポーツゾーン

昭和53年度

施設利用者数 112,456人

6年度 160,830人

最初の事業

女性テニス教室

前期月曜 5回 44名

後期木曜 5回 41名

# 事業団、財団の変遷

- S45 (財)滋賀県文化体育振興事業団設立
- S46 (財)滋賀県希望が丘文化公園管理公社設立

## S47 滋賀県希望が丘文化公園開園

- S51 公園管理公社が(財)滋賀県文化体育振興事業団に統合  
滋賀会館、琵琶湖文化館、皇子山トレーニングセンター、県立体育館、  
琵琶湖漕艇場、彦根総合運動場、希望が丘文化公園を管理運営
- S60 県立スポーツ会館開館(皇子山トレセン廃館)
- S63 文化産業交流会館開館(米原市)



- H 4~ (財)滋賀県文化振興事業団と(財)滋賀県スポーツ振興事業団に組織改編
- H10~ 県内5つの文化芸術会館を統合(長浜・安曇川・八日市・水口・草津)  
琵琶湖文化館を文化財保護協会に移管

## H18~ 指定管理者制度導入

希望が丘文化公園は非公募(3年間)の指定管理者  
長浜文芸が長浜市、安曇川文芸が高島市、八日市文芸が東近江市、  
水口文芸が甲賀市にそれぞれ移管

## H21~ 第2期指定管理者、選定は公募(5年間)

H24~ 公益財団法人滋賀県文化振興事業団に移行

## H26~ 第3期指定管理者、選定は公募(5年間)

H29~ (公財)滋賀県希望が丘文化公園に組織改編  
(県文化振興事業団を継承)

文化芸術部門はびわ湖芸術文化財団に統合

- R 1~ 第4期指定管理者、選定は公募(6年間)
- R 7~ 第5期指定管理者、選定は非公募(1年間)
- R 8~ 第6期指定管理者、選定は非公募(2年間)  
令和9年度末をもって財団は解散の予定



# 昭和56年度青年の城主催事業

※青年の城利用者数 80,615人

①青少年集団宿泊指導担当者研修	1泊2日	1回(5月)	51名
②レクリエーションリーダー-養成研修	2泊3日	2回(6・12月)	167名
③コンパニオン・カウンセラー-養成研修	1泊2日	4回(5・6・12・2月)	61名
④野外活動リーダー-研修	1泊2日	1回(7月)	51名
⑤希望が丘自然観察のつどい	1泊2日	1回(7月)	94名
⑥高校生リーダー-研修	1泊2日	1回(7月)	93名
⑦勤労女子青年研修	1泊2日	1回(8月)	28名
⑧近江の文化を求めるつどい	1泊2日	1回(12月)	26名
⑨はたちを迎えた青年のつどい	1泊2日	1回(1月)	42名
⑩はばたく高校生のつどい	1泊2日	1回(2月)	28名
⑪青年交歓のつどい	1泊2日	1回(3月)	25名



昭和46年 大津市瀬田町月の輪所在の  
滋賀県青少年宿泊研修所(青年の家)が閉館 (青年団体 月の輪会)

昭和47年 滋賀県立青少年宿泊研修所(青年の城)開所

昭和52年 主催研修「ボランティア・カウンセラー養成研修」の修了生である勤労青年の活動

昭和57年 滋賀県青年の城「友城会」を設立 17名  
1/9 武村知事を囲んで座談会



**友城会** 青年の城主催  
研修へ参加・協力するとともに、多くの仲間と出会い、語り合い、活動することによって、相互に研鑽し、幅広い仲間づくりを目指す。

宿泊研修で  
正しい人間関係を

昭和57年9月11・12日  
「希望が丘再会の集い」開催

昭和57年度上半期に開催された「野外レクリエーション研修」「レクリエーション研修」他を修了された方々との情報交換や参加者相互による指導などでレクリエーションを満喫した。

滋賀県青少年団体協議会の構成団体として「滋賀青年の船」に参加するとともに、リーダーや本部役員として活躍、さらに「近畿青年洋上大学」にも参加するなど滋賀青年として活動の場が広がる。

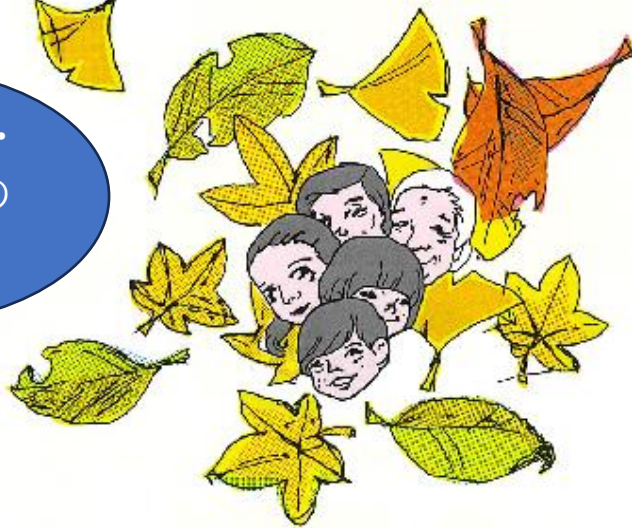
# 希望が丘紅葉 フェスティバル

みんなで作ろうふれあい広場

'84.11.11(日) 9:00~16:00

●会場／滋賀県希望が丘文化公園 スポーツゾーン 一帯

地域・団体・  
企業等との  
連携



財)滋賀県文化体育振興事業団

昭和59年11月11日(日)

メインテーマ

みんなで作ろう

“ふれあい広場”

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、野洲町、竜王町、甲西町、野洲町教育委員会、竜王町教育委員会、甲西町教育委員会、湖南消防組合、県青少年育成県民会議、県交通安全協会、県明るい選挙推進協議会、美しい湖国をつくる会、県自然保護協会、県緑化推進会、県観光連盟、県物産振興会、県福祉物産流通振興会、県森林組合連合会、県青年の城友城会、全日本愛鱗会滋賀支部、日本電動車両協会、八日市大風保存会、県体育協会、県アーチェリー協会、県サッカー協会、県軟式庭球連盟、県テニス協会、県ラグビーフットボール協会、県カー協会、県レクリエーション協会、県リエントリーング委員会、青少年交友協会、日本フライングディスク協会、レクサイドスクエアズ、野洲町体育協会、朝日新聞大津支局、京都新聞社滋賀本社、佐賀サカイ新聞社、中日新聞本社、日本経済新聞社、NHK大津放送局、毎日新聞大津支局、読売新聞大阪本社、KBS京都、びわ湖放送、滋賀報知新聞社、日刊滋賀新聞社 48団体等

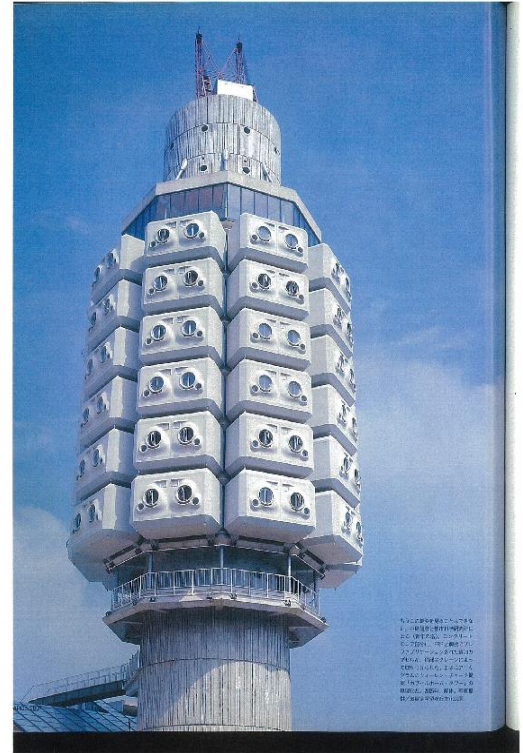
協賛：(株)オミリン、日本観光開発(株)、富士写真フィルム(株)、(株)サクラクレパス、三笠コカラボトリング(株)、(株)アシックス 6社

広告掲載：76社

# 昭和60年1月から1年間 青年の城防災・冷暖房工事 ～「マル適」マークのついた住環境整備工事～

## 工事内容

- ・カプセル宿泊室48基を取り外し、各階1基分を避難用はしごを設置したバルコニーに取替
- ・残りのカプセルは冷暖房を完備、内外装を一新
- ・現クラフト室にあった事務室を移転
- ・現中ホールにあった食堂と多目的室の奥にあった大小の浴室を本館前に新設し、地下道でつなぐ
- ・大ホールは天井を断熱材に変更、壁面を音響効果のあるものに改修し、冷暖房を完備
- ・大小9つの研修室も音響、内装を改修
- ・宿泊室はくつろげる一部畳の部屋を新設する
- ・電話システムは青年の城に電話交換機を設置し、すべての施設と内線でつなぐ



※総工費：15億円、57年10月に防災上の不備を指摘されていた  
61年1月4日 青年の城リニューアルオープン



# ユネスコの 生涯学習論

1991 ユネスコ総会  
1993 21世紀教育国際委員会  
1996 ドロール・レポート



## ファミリーキャンプフェスタ

10年度 69家族 330名  
11年度 96家族 433名  
12年度 55家族 369名  
13年度 3回 77家族 381名  
14年度 2回 63家族 391名  
17年度まで2回開催

## 1996 中教審

「ゆとり」の中で

「生きる力」を育む

- 学校週5日制
- 総合的な学習

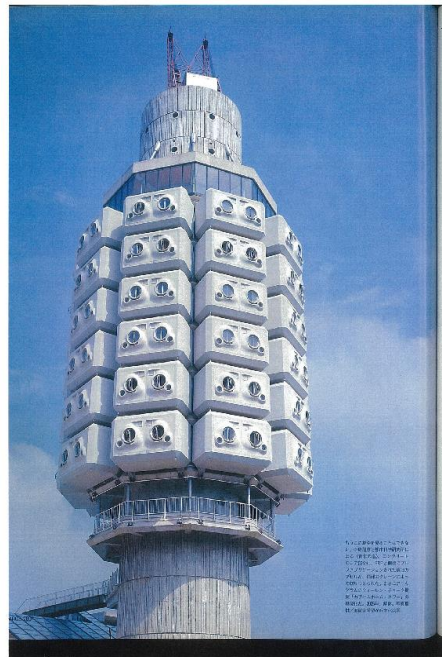
わんぱくキャンプは、昭和60年度に2泊3日でスタート  
13回目となる平成9年度から6泊7日(定員100名)に拡充

## 平成10年度～12年度 わんぱくキャンプ申し込み状況

区分		平成10年度		平成11年度		平成12年度	
4年生	男子	151	295	86	157	100	171
	女子	144		71		71	
5年生	男子	138	267	67	131	48	109
	女子	129		64		61	
6年生	男子	84	151	58	111	46	83
	女子	67		53		37	
申込数		713		399		363	
当選者数		100		120		100	

地域		平成10年度		平成11年度		平成12年度	
湖西	高島、大津、滋賀	204		108		107	
湖南	草津、守山、栗太、野洲、甲賀	223		146		137	
湖東	近江八幡、八日市、蒲生、神崎、愛知、犬上、彦根	238		119		97	
湖北	長浜、坂田、東浅井、伊香	45		26		22	
県外	京都、高槻	3					
申込数		713		399		363	

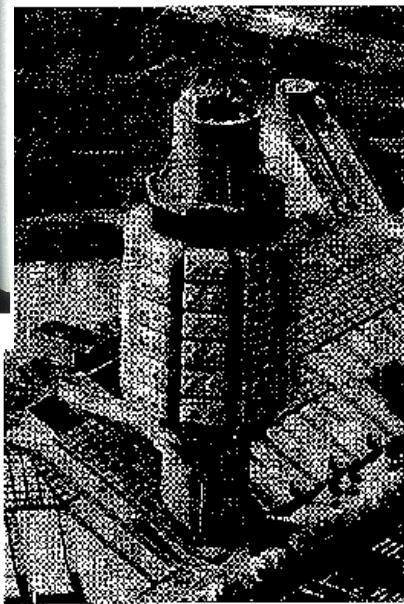
# 青年の塔解体 (平成17年10月～翌年3月)



産経 4/17/17 朝刊

## 県希望が丘文化公園「青年の城」

# シンボルの塔解体へ



野洲市の中心部に立地する県希望が丘文化公園の研究館跡地に、青年の城として築かれた高さ約100メートルの塔が、老朽化のため解体されることになった。毎週地味なイベントのシンボルとして親しまれてきたが、財政難のため解体が促された。解体作業は、11月には塔が倒壊する可能性がある。11日の解体は、倒壊する可能性がある。11日の解体は、倒壊する可能性がある。

県希望が丘文化公園のシンボルとして親しまれてきたが、財政難のため解体が促された。解体作業は、11月には塔が倒壊する可能性がある。11日の解体は、倒壊する可能性がある。

老朽化 親しまれた30年暮 財政難

青年の城の塔は、平成17年10月に解体された。塔は、県希望が丘文化公園のシンボルとして親しまれてきたが、財政難のため解体が促された。解体作業は、11月には塔が倒壊する可能性がある。11日の解体は、倒壊する可能性がある。

# 平成20年度 全国スポーツレクリエーション祭 希望が丘文化公園にて総合開会式

びわ湖から あふれる元気 きらめく笑顔

第21回 全国スポーツ・レクリエーション祭

## スポレク滋賀2008

平成20年 10月18日(土)～21日(火)  
滋賀県希望が丘文化公園を主会場として県内全域で開催!

マスコットキャラクター  
キャッピー



スポレク祭開催に伴う来園者数 47,976名



スポレク祭500日前イベント  
(平成19年5月20日)



スポレク祭150日前イベント  
(平成20年5月10日)

# 「ニュー希望が丘」でお迎えします

希望が丘100年プロジェクトをスタート！！

- ①希望が丘の「森のランドデザイン」
- ②環境問題に応える「森のサイクル」
- ③景観を創り出す森林整備

豊かな自然の保護と活用 「自然と人との共生」

お客様の対話がはずむ 「ふれあい公園」

満足なサービスが受けられる 「納得公園」

お客様をしっかりと見守る 「眼差し公園」

人づくりに貢献する 「社会教育施設の役割」



野外活動センターで炭づくり



琵琶湖カップ健康グラウンド・ゴルフ大会(1,200人)



自然観察会で公園サポーターがガイド

# ビジョン：100年先にも誇れる公園づくり

## 賑わい公園構想

新しい時代を拓く人  
づくり 生涯学習推進、  
人材育成・交流

特色ある魅力的な  
公園づくり 地域活動  
連携、情報ネットワーク

人と  
ふれあう

個性豊かな公  
園文化づくり  
地域文化連携、  
三世代交流

快適で癒やしの  
ある森林環境づ  
くり 美しい公園、  
自然活動基盤整備と  
安全

安心・安全・快適

健やかに暮  
らせる健康  
づくり  
高齢者生きがい、  
福祉施設連携

文化と  
ふれあう

自然と  
ふれあう

地域に貢献  
する拠点づ  
くり 観光  
サービスや  
地元企業連携

ふれあい文化構想

森林整備構想

# 教育的機能を兼ねた自然文化公園 取り組みの柱～5つのミッション

## 1 自然と人との共生

調和のとれた森づくり

## 2 教育的機能の発揮

次代を担う子どもたちの体験活動

## 3 ふれあい公園の創出

賑わい、お客様との対話

## 4 納得公園の演出

質の高いサービス提供

## 5 眼差し公園による管理運営

人・公園を見守る

# イノシシ被害と対策



芝生ランドの被害状況と復旧作業



イノシシ被害対策会議 平成20年6月27日



# 開園40周年記念式典&記念事業フィールドアート H23年10月



# 第11回日本アグーナリー H24年8月



# 次なる一步の・・・3つのポイント

## その1

WELCOMEスマイル  
イメージアップ

服装

挨拶

東西ゲートのインフォメーション機能を充実



## その2

身近に親しまれる公園  
めいっぱい楽しむ

いつでも、どこでも、誰でも満足を

満足



## その3

活気ある事業の展開  
元気にします

あらゆる年代の方々を元気にする事業

き  
ぼっ  
こ

# 5大イベント10大祭り

- ①びわ湖カップ 少年サッカー大会
- ②びわ湖男女駅伝フェスティバル
- ③びわ湖カップ グラウンド・ゴルフ大会
- ④全日本クロスカントリー大会
- ⑤びわ湖カップ なでしこサッカー大会



## 希望が丘 スプリングフェスティバル

同日開催  
●フリーマーケット (各日130店)  
●のびのび ペインティング

日時 平成27年 3月14日(土)・15日(日) 10:00~15:00  
雨天 3月14日(土)雨天の場合→3月21日(土)  
3月15日(日)雨天の場合→3月22日(日)

場所 希望が丘文化公園 スポーツゾーン  
滋賀県野洲市北楼978(西ゲート側)

**巨大 ジャポン玉つくり**  
●時 間：各日 11:00~12:00 (当日受付)  
●参 加 料：無 料

**トランポリン レクササイズ体験**  
●時 間：各日 1回10:30~2回12:30~  
●定 員：各日20人(当日受付)  
●場 所：トランポリンレクササイズ協会

**子ども広場に「きりぎりすのもり」出現**

**ジャンクルジム**  
●時 間：各日 1回目10:00~2回目11:00~  
3回目12:45~4回目13:45~  
●定 員：各回 30人(親子可)  
●参 加 料：100円  
●場 所：東近江市 川村上高台

**お楽しみイベント**  
間伐材を利用した「しいたけ」の国つち体験  
別添付を添付していたけの原木を作ります  
●定 員：各日50人 (当日受付)  
●参 加 料：各日100円 (1人1本限定)

**大道芸**  
ステージゾーンでも行われる

**スポーツゾーン**

フリーマーケット

**希望が丘文化公園**

株式会社 びわ湖環境サービス

滋賀県希望が丘文化公園 スポーツ交流担当  
〒520-2371 滋賀県野洲市北楼978  
TEL:077-588-3251 / FAX:077-588-3252  
E-mail: kibougoakaeshiga-bunshin.or.jp

主催：滋賀県/公益財団法人滋賀県文化振興事業団 (滋賀県希望が丘文化公園)

- ①キッズフェスティバル
- ②新緑祭
- ③キャンプフェスタ
- ④スポーツフェスティバル
- ⑤ふれあい祭
- ⑥紅葉祭
- ⑦家族三世代交流フェスタ
- ⑧ジニアサッカーフェスタ
- ⑨新春まつり
- ⑩スプリングフェスティバル

# 平成28年度 開園45周年記念事業

## 早川鉄兵の感性～希望が丘文化公園の四季～

### 角笛シルエット劇場（青年の城大ホール）



**クロスカントリーコース完成（大会11月開催） 全中駅伝大会17年ぶりに開催**

	年度	来園者数	青年の城利用者数	野外利用者数	スポーツ利用者数	利用者合計	利用料金収入
一期	20年度	759,645人	40,270	25,596	94,152	160,018	94,449,872
第二期	21年度	829,435人	42,393	23,279	106,093	171,765	98,058,628
	22年度	848,556人	45,499	32,565	131,762	209,826	103,468,286
	23年度	849,481人	49,487	37,133	136,469	223,089	99,139,742
	24年度	851,597人	53,876	35,584	120,552	210,012	104,793,032
	25年度	834,120人	53,007	34,374	123,385	210,766	108,201,246
第三期	26年度	892,221人	55,390	34,807	132,498	222,695	123,112,415
	27年度	890,460人	53,819	27,587	131,091	212,497	119,479,070
	28年度	890,536人	53,776	26,376	149,972	230,124	114,822,225
	29年度	892,052人	49,579	24,799	164,098	238,476	111,856,875
	30年度	903,290人	49,707	19,818	190,883	260,408	110,065,075
四期	令和元年度	934,116人	43,371	18,831	161,894	224,096	113,012,065



# 希望が丘文化公園活性化方針策定の軌跡

## ～希望が丘文化公園将来ビジョンの策定に向けた経過～

平成25年8月2日 県議会体育振興・健康づくり対策特別委員会県内行政調査 公園視察

平成25年11月8日 第1回主会場選定専門委員会開催

平成26年5月20日 第5回主会場選定専門委員会開催

彦根総合運動場を主会場にすることに決定

希望が丘文化公園、びわこ文化公園都市について付帯意見

「本来のコンセプトや地の利を活かすことで、より一層の活用が見込めると考えられることから、県においては将来の滋賀県のスポーツ推進に向けてそれぞれのあり方や活用方法を検討されたい」

平成26年11月13日 第1回関係課長会議開催

平成26年11月25日 政策・土木交通常任委員会でビジョン策定の報告

平成26年12月4日 第1回ワーキンググループ開催 H27.3/24 第2回WG開催

平成27年3月27日 第1回検討懇話会開催

平成27年8月27日 政策・土木交通常任委員会で将来ビジョン案に対する意見等の報告

平成27年12月 希望が丘文化公園将来ビジョン策定

平成30年3月 希望が丘文化公園基本計画策定

令和6年8月 希望が丘文化公園活性化方針策定



# 希望が丘文化公園開園50周年記念事業



記念式典 知事挨拶



大西将太郎トークショー



むかで太鼓



令和3年10月30日 (土)

記念植樹  
財団理事・評議員



記念写真展 (5か所巡回展)  
6月30日～3月31日  
野洲図書館  
アグリパーク竜王  
竜王かがみの里  
県民サロン  
青年の城



# 希望が丘文化公園で開催している大規模スポーツ大会



滋賀県高等学校駅伝競走大会



全国中学校駅伝大会



BIWAKOクロカン



日本オープンディスクゴルフトーナメント



びわ湖カップなでしこサッカー大会

# 希望が丘文化公園で開催している自然体験活動事業



ちびっこファミリー自然とあそぼう



夏休み自然塾(2泊3日)  
5つの分野を調査研究  
植物・昆虫・水生生物・  
プランクトン・岩石と化石



ファミリーキャンプフェスタ



クリスマスクッキング



キッズ防災キャンプ

広大なフィールド、四季折々の豊かな自然環境  
の希望が丘文化公園は令和8年に開園55周年を  
迎えます 皆さまのご来園をお待ちしています



芝生ランド



ハッチョウトンボ

ササユリ

